わかしお

倉敷市立下津井東小学校
学校だより　第８号
令和５年７月１９日

明日から夏休み

ついに夏休みがやってきました。明日から３９日間の長い休みに入ります。

子どもたちはとても楽しみにしていることと思います。とはいえ、保護者の皆様の中には、仕事があるから、学校に行っているほうがよかったと思われている方もいらっしゃるかと思います。私も子どもが小さいときは、近くに農業をしている祖父母がいるということで学童にも入れませんでしたから、長期休暇中の昼ご飯をどうしようかと毎日考えてばかりでした。計画的に宿題を進めることもなかなか難しく、時々電話をかけては、遠隔操作のような毎日でした。学校があることで規則正しい生活が送れていたのだとつくづく感じました。みなさんのお子様はそんなことはないかもしれませんが…。

終業式の話

終業式では、４月の始業式で話した「あいさつ」と「運動や勉強をがんばる（挑戦をする）」の振り返りをしてみました。子どもたちは自分ががんばったというのは抵抗があるようです。挨拶の声も確かにもう少し出せると気持ちが良いかもしれませんし、運動や勉強だってもっともっとできるほうがよいでしょう。でも、どこまでできたらいいの？

自己肯定感が低いと不満もたまります。自分のがんばりを認められる子になってほしいですね。そのためには、がんばったという事実が必要です。話の中では、好きだった折り紙飛行機づくりにとことん挑戦して、滞空時間でギネス記録をもっている折り紙ヒコーキ協会の会長戸田拓夫さんのことを少し話しました。難しいことでなくてよいのです。好きなことを極めるのが、自信につながります。（ゲームについてはルールを守ってするように話しています。）この夏休み好きなことをとことんやるとか、何かを続けるとか、自分でがんばったという思いがもてる夏休みにしてほしいと思います。わたしも、オカリナの練習をがんばると、子どもたちの前で宣言してしまいました。

２学期の始業式、みんなが元気に笑顔で登校できることを祈っています。